

12月8日(日)グリーンランド刈谷にてAIFAレフェリーアカデミー2B研修会を行いました。前半のセッションではフィールド全体を使って対角線式審判法を意識した上で、インターバル走を実施しました。心拍数が上がった状態でも、視野を広く保ったり、コース取りを意識したりしながら行うことができました。後半のセッションでは松本康之Jリーグ副審担当1級審判員を講師に迎え、副審プラクティカルトレーニング(試合中の場면을切り取って再現し、反復練習すること)を実施しました。これから上級を目指す審判員たちにとって、国内トップリーグで得た経験を直接伝えてもらうことができるとも貴重な機会となりました。

参加者の感想

橋本 宙 2級審判員

副審プラクティカルトレーニングでは、松本さんより「利き目」、「フラッグアップ」、「判定方法」について指導していただきました。「利き目」でオフサイドラインを合わせなければ数センチから数十センチずれてしまうことを学びました。「フラッグアップ」、「判定方法」については判定に説得力を持たせるためにより重要であることを再確認することが出来ました。フィジカルトレーニングでは、15秒(スプリント)・15秒(レスト)×10本インターバル走を2セット行いました。ペナルティエリアから反対のペナルティエリアまでの距離ですが、対角線式審判法を意識し、フィールドに対して少し外に膨らむ形で行いました。審判を行う上で対角線式審判法は基本でもあるので、自然に膨らむ形を体に覚えさせながら体カトレーニングも行える良い方法であると感じました。また、タイム設定に関しても幅を戻すことができるのでコンディションによって調整もしやすい方法でした。今回参加して得た知識を試合に活かして行きたいと思います。忙しい中研修を開いてくださったスタッフの皆様、ありがとうございました。

松原 正宗 2級審判員

今回の研修会では、対角線式審判法を意識したフィジカルトレーニングと、愛知県所属の1級審判員松本康之氏を講師としてお招きしオフサイドの判定についてのプラクティカルトレーニングを行いました。フィジカルトレーニングでは自分の最大心拍数に対して適した負荷で行う、また実際の試合を想定し首を振りながら周りの状況を把握することを意識し取り組むことができました。プラクティカルトレーニングでは、基本となるオフサイドラインキープを意識するとともに、視野の取り方から正しく情報を得て、正しい判定に繋げることを心がけて行うことができました。オフシーズンに入り、今シーズンの取り組みを振り返りながら、新シーズンが良い形で迎えられよう、今回の研修会で学んだことを活かし十分に準備をしていきたいと思います。最後になりますが、この度の研修会を計画・実施してくださった講師をはじめとした関係者の方々に感謝申し上げます。

